



# 市議会だより



2022宇治市植物公園写真コンテスト 宇治市観光協会会長賞 作品タイトル：しだれ桜ライトアップ 撮影者：西村 譲

## contents

- 02 ◆ 12月定例会の概要
- ◆ 議事内容（抜粋）
- 03 ◆ 議決結果
- 04 ◆ 令和3年度 決算審査報告
- 05 ◆ 常任委員会の報告
- 07 ◆ 一般質問

vol.168

2023. 3. 1

発行／宇治市議会

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL.0774-20-8747（直）

編集／広報委員会

アンケート →



議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください



# 一般会計補正予算 可決

## 子育て世帯物価高騰対策臨時給付金事業費 ＜児童1人につき2万円＞

## 出産・子育てあんしんサポート事業費 ＜妊婦・子ども1人につき5万円＞

### 12月 定例会の 概要

12月定例会は12月2日から12月26日までの25日間の会期で開かれ、市から提出された「令和4年度宇治市一般会計補正予算（第5号）」をはじめとする30議案が可決・認定・同意・承認されました。（3面に議決結果を掲載）

市政に関する一般質問は、12月9日、12日、13日、14日の4日間にわたり、17人の議員が個人質問を行いました。（7～15面に掲載）

### 議事内容(抜粋)

#### 可決 令和4年度 一般会計補正予算（第5号）

補正額は4億5000万円の増額で、予算総額は714億7667万1千円となる。早急な予算措置が必要となる対応策として、物価高騰等により、家計への影響が大きく、厳しい状況にある子育て世帯に対する市独自の臨時給付金に要する経費を計上する。歳入では国庫支出金を計上している。

#### 可決 令和4年度 一般会計補正予算（第6号）

補正額は4億7380万5千円の増額で、予算総額は719億5047万6千円となる。明星町地区「のりあい交通事業」の臨時支援に要する経費、府議会議員・市議会議員選挙の執行に要する経費等を計上するとともに、近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画の策定に要する債務負担行為（注）、物価高騰や資材不足の影響等により必要が生じた繰越明許費（注）等を設定する。歳入では国庫支出金、府支出金、繰越金、市債を計上している。

#### 可決 令和4年度 一般会計補正予算（第7号）

補正額は7693万2千円の増額で、予算総額は720億2740万8千円となる。特別職報酬等審議会、京都府人事委員会勧告等を踏まえた議員及び特別職の期末手当、職員給与の改定等に要する経費を計上する。歳入では繰越金を計上している。

#### 可決 令和4年度 一般会計補正予算（第8号）

補正額は1億6000万円の増額で、予算総額は721億8740万8千円となる。早急な予算措置が必要となる対応策として、国補正予算に基づき、妊娠期から出産・子育てまでの一体的な支援に要する経費を計上する。歳入では府支出金、繰越金を計上している。

（注）「債務負担行為」は、翌年度以降に債務を負担（支出）することが必要な事業について、あらかじめ予算として定めておくもの。「繰越明許費」は、当該年度内に支出が終わらない見込みがある場合、予算を翌年度に繰り越すもの。



# 12月定例会 議 決 結 果

## ◆すべての会派が賛成した議案

議 事 内 容 (※)		
議 案	令和3年度墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	令和3年度水道事業会計決算認定<決算特別>
	令和3年度公共下水道事業会計決算認定<決算特別>	令和4年度一般会計補正予算(第5号)
	令和4年度一般会計補正予算(第6号)	令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	令和4年度公共下水道事業会計補正予算(第1号)	職員の定年等に関する条例等の一部改正<総務>
	職員の給与に関する条例の一部改正<総務>	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正<総務>
	議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正<総務>	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正<建設・水道>
	観光センター及び市営茶室の管理に係る指定管理者の指定<産業・人権環境>	市道路線の認定<建設・水道>
	市道路線の廃止<建設・水道>	菟道榎島線(宇治川橋)橋梁耐震化工事委託に関する細目協定の締結<建設・水道>
	JR宇治駅南自転車等駐車場ほか8箇所の自転車等駐車場の管理に係る指定管理者の指定<建設・水道>	京阪三室戸駅前自転車等駐車場ほか6箇所の自転車等駐車場の管理に係る指定管理者の指定<建設・水道>
	令和4年度一般会計補正予算(第7号)	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正<総務>
	職員の給与に関する条例等の一部改正<総務>	会計年度任用職員の給与その他の給付に関する条例の一部改正<総務>
	教育委員会委員の任命同意	令和4年度一般会計補正予算(第8号)
自治功労者の推薦承認 (注2)		
意見書案	GIGAスクール構想による一人1台端末や通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のため恒常的な国の支援策の創設を求める意見書	

## ◆会派で賛否が分かれた議案

○印=賛成, ×印=反対

議 事 内 容 (※)	議決結果	会 派 名					無会派1	無会派2
		未来	共産	自民	公明	維・宇		
令和3年度一般会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○	×	○	○	○	○	○
令和3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○	×	○	○	○	○	○
令和3年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○	×	○	○	○	○	○
令和3年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○	×	○	○	○	○	○
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正<総務>	可決	○	×	○	○	○	○	×
誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう宇治市の保育充実を求める請願 <文教・福祉>	不採択	×	○	×	×	×	×	○
統一協会問題の徹底究明と実効性ある救済措置を求める意見書	否決	×	○	×	×	×	×	○
敵基地攻撃能力の保有、軍事費の増額と増税の中止を求める意見書	否決	×	○	×	×	×	×	○

(※) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。議案の後ろの< >内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。  
 (注1) 議長のため決表に加わっていません。(注2) 秋月議員は除斥。(本人に関係する議案については審議に参加できないため)  
 ※ 議事内容(抜粋)は2ページに掲載しています。

## 可決された意見書(要旨)

### G I G A スクールの構想による一人1台端末や通信環境の整備・維持、ICTを活用した教育の振興のため恒常的な国の支援策の創設を求める意見書

政府は、G I G A スクール構想に基づく整備計画により地方自治体へ強力な財政支援を行い、令和3年度までに児童生徒一台のタブレット端末の整備をほぼ完了した。しかし、地方自治体の財政力は、総じて将来にわたってG I G A スクール構想による通信環境の整備・維持を行うことは大変困難で、本市でも、今後見込まれる多額の関係経費の財政確保は難しい状況にある。

については下記のとおり、恒常的な地方自治体への支援制度を国において整備されることを要望する。

1. 一人1台端末の整備・修繕・更新、活用に係る通信及び回線速度改善等に係る恒常的な国庫補助金措置を講じること。
2. 学習ソフトウェア・ハードウェア等の購入経費に係る支援を図ること。
3. 通信費に対する財政支援を講じること。
4. 情報通信技術支援員等(ICT支援員等)の配置及び充実への支援を図ること。
5. デジタル教科書無償化及びその活用に対する支援を図ること。

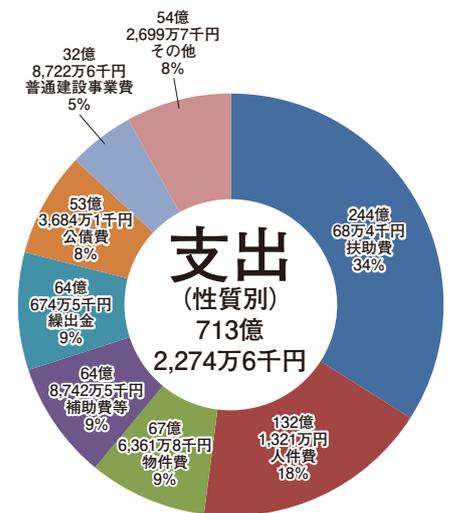
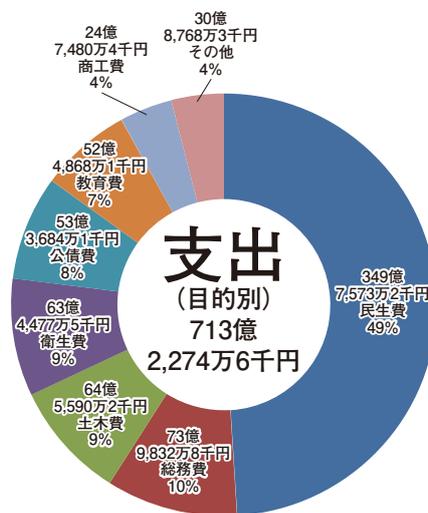
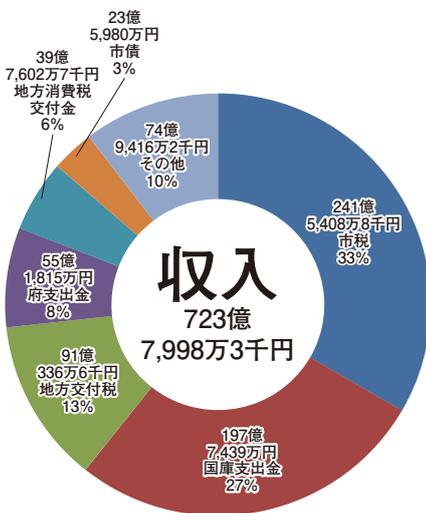
# 令和3年度 決算審査報告

令和3年度宇治市一般会計歳入歳出決算などの各会計決算7議案が、令和4年9月定例会に提出されました。7議案は、決算特別委員会で審査された後、12月定例会ですべてが認定されました。  
(3面に議決結果を掲載)



<実地調査：消防用ドローン>

## 一般会計の内訳



※支出のグラフは、目的別、性質別の2種類を掲載しています。

市債：市が歳入不足を補うために発行する債券

民生費：障害者、高齢者、児童などの社会福祉や生活保護などにかかる経費

総務費：人事、企画、財政、戸籍、統計、税、選挙、庁舎管理など、他部門に分類されない事業に要する経費

公債費：市債の返済に要する経費で、市債の返金とその利子

扶助費：社会保障制度の一環として、各種法令や市独自の制度に基づいて行う福祉サービスの提供に必要な経費

## 決算特別委員会における討論

各党派委員の総括質疑の後、共産党議員団が反対討論、自民党議員団が賛成討論を行いました。

**反対** 命と暮らし、なりわいを支えるべき  
共産党議員団 徳永 未来

市民の暮らしが大変厳しい状況だからこそ市民の福祉増進に努める自治体本来の役割を發揮し、命と暮らし、なりわいを支えるべきであるが、第1に誰もが安心して暮らせるまちになっていない。第2に子育て、教育環境の充実したまちづくりが不十分である。第3に住んでよかったと思えるまちになっていない。また、第4に新たな産業を振興するまちづくりよりも市内循環型で地域経済の活性化を図るべきであり、これら行政としての責任を果たすことを求め、反対する。

**賛成** 輝く宇治を創造する施策を積極的に推進した  
自民党議員団 木本 裕章

市長就任後初めての当初予算として、安心・躍動・再スタートを理念とした新たなふるさと宇治の創造に向けた躍動予算を編成し、新型コロナウイルス感染症への対応策、子育てにやさしいまちづくりや輝く宇治を創造する重点的取組に係る施策を積極的に推進する一方で、4年連続での単年度収支の黒字を確保した。引き続き必要な施策はスピード感を持って対応するとともに、第6次総合計画に掲げる目指す都市像の実現に向け、全庁挙げて取り組むことを期待して賛成する。

# 常任委員会の報告

9月定例会閉会後翌日から12月定例会最終日まで開催された総務常任委員会、文教・福祉常任委員会、産業・人権環境常任委員会、建設・水道常任委員会の審査内容を一部お知らせします。

## 総務

### 12月15日 市職員の定年等に関する条例改正・給与に関する条例改正を審査

#### 市の説明

現行60歳としている職員の定年について、国が示す考えに沿った形で段階的に65歳に引き上げる等の見直しを行う。市職員の勤務時間に関する条例及び市職員の退職手当に関する条例など8つの条例の一部改正及び1つの条例を廃止する。また、行財政改革の取組の1つとして人件費の抑制等に取り組んできたが、改めて国・府制度に準拠する方向で職員の給与制度の見直しを実施する。

#### 委員からの質疑

問60歳以後も引き続き管理職に就くこととなった職員を公益的社団法人等へ派遣できない理由は。

答引き続き管理職に就くことは、例外として公務の運営に著しい支障が生じる場合としていることから、その職員を他の法人に派遣することにはならない。

問定年を延長しながら給料を3割減額する理由は。

答民間給与実態調査等の結果を踏まえて、国家公務員

は60歳前の7割措置となった。本市の60歳を超える職員給与もそれに準拠して設定した。

問定年延長により勤務する人材が、後輩へ豊富な経験を引き継いで欲しいと考える。役職定年となった職員に特定の部署に残ってもらうことはあるのか。

答60歳に達した管理職は一旦役職を降りるが、今までの経験などを生かしながら業務を行えるよう、異動部署の在り方を今後検討する。

問職員のモチベーションが重要だ。改正による課題が生じた場合は改めて報告して欲しい。

答役職定年となった職員の役割や業務の整理を図ったうえで、組織がしっかりと運営されているかチェックを行い、課題を分析する。

問60歳以降の給与は当分の間、職員が60歳に達した日以後の最初の4月1日以降、原則7割水準とするところがあるが、当分の間とは。

答65歳に引き上がる令和13年度までの間に、国は7割水準の妥当性を検討するので、市もその状況を見ながら、適宜的確なタイミングで対応していく。

#### 採択

全委員の賛成で可決すべきものと決した。

## 文教・福祉

### 12月16日 (仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業に係る基本設計を策定

#### 市の説明

保護者・地域への説明会や整備検討委員会学校部会での意見を反映するべく検討を重ね、(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業に係る基本設計を策定した。

東側に校舎棟、西側にアリーナ棟を配置する。校舎棟の各階にメディアセンター・コモンズ・教師ステーションを、2階から4階には普通教室を配置し、普通教室は1教室当たり72㎡を確保している。各階には3学年が入り、2階・3階の普通教室を小学生用、4階の普通教室を中学生用と想定している。校舎棟2階北側に小学校、4階に中学校の特別支援学級を各3教室配置する。

北側敷地に隣接する住民からの要望をうけ、騒音等の対応として敷地境界から校舎までの距離を22.5mから25mに広げ、グラウンドの南北の距離を約76mとした。屋外運動場の全体面積は約1万3000㎡を想定している。

#### 委員からの質疑

問設備方針に「ZEB Orientedの取得を目指す」とあるが、具体的に何か。

答整備により約40%の省エネを達成する。

問工事が始まると約4年グラウンドが使えないのか。

答工事期間中の運動場の利用については、近隣の小学校や公共の運動場などの活用を検討している。

問校舎内に地域連携・PTA室があるが、入退室のセキュリティはどうなるのか。

答地域の方も活用できるセキュリティを検討する。

問グラウンドの南北距離76mで、中学生は、安全に軟式野球の試合ができるのか。

答公式戦には76.2mという規定があり、実際その長さを取れている中学校は一部で、公式試合は難しい。

問大久保小学校、黄檗学園の整備事業を経験した中で、必ず議論になるのは、教室の数や面積、グラウンド面積であり、しっかり確保すべきだ。今指摘されている課題が解消され、議決することのできる説明をしてほしい。

# 常任委員会の報告

## 産業・人権環境

### 12月19日 第2期宇治市観光振興計画（初案）を報告

#### 市の説明

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光を取り巻く環境が大きく変化中、観光客のニーズや社会情勢の変化を的確に把握し、従来の観光資源に加えて新たな価値や魅力を創出し、宇治市らしさのある観光地を目指すため第2期宇治市観光振興計画を策定する。

計画期間は、第6次総合計画の計画期間を踏まえ、令和5年度から15年度までの11年間とし、計画期間を前期3年・中期4年・後期4年に分けてアクションプランを作成する。

#### 委員からの質疑

**問** 茶づな周辺は、大型バスの乗降場所がない。環境整備はどう考えているか。

**答** 観光バス会社を含めて、関係団体とも連携をしながら、調整を図りたい。

**問** NHK大河ドラマ「光る君へ」は源氏物語を基にした作品となる。これを機会に源氏検定をしてはどうか。

**答** 市民も観光客も含め、源氏物語をはじめとした宇治の魅力を感じられる取組を進めたい。

**問** 交通渋滞は観光客にマイナス要素が大きい。ダイナミックな手立てを考えないと解消できないのでは。

**答** 公共交通機関の利用を促し、時間の分散などの発信の仕方を検討する。

**問** NHK大河ドラマ放送を見て来られる観光客へ、市はどのような取組を考えているのか。

**答** 大河ドラマをきっかけに平安時代の宇治の良さを再発見してもらえるような取組を庁内のプロジェクトチームで進める。

**問** よく出来た計画だが、絵に描いた餅で終わらないために、問題解決ができる体制づくりが必要なのでは。

**答** 計画によって市民・事業者が行政と連携して取組を進めてもらい、それを支えていくのが行政の役割と考える。その役割を果たせる組織体制を整備する。



## 建設・水道

### 12月20日 近鉄小倉駅東西移動円滑化概略検討の進捗状況等を報告

#### 市の説明

近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想の実現に向け、現在、近鉄小倉駅東西移動円滑化の概略検討を実施しており、並行して近鉄との協議を進めている。

概略検討の結果、「跨線自由通路案」「橋上駅舎案」とともに、配置・構造について駅舎として問題がないことを確認したうえで、鉄道利用者の利便性や早期実現の観点、地域の意見などから、まずは現状の地上駅舎を基本とした「跨線自由通路案」を選択し検討を進めていく。既存駅舎を利用する形式の工事費と施行期間は6億円、18カ月で、施工中は地下通路の使用ができない。駅舎を改良する形式は15～18億円、24カ月で自由通路と改札の距離を短くできる。

今後、具体的な整備手法や実現方策などの検討を進め、駅周辺の民間事業者等から、にぎわいや魅力の創出に向けた提案などがあった場合は、まちの魅力を引き出せるような駅舎形式であるかという視点からも検証して、柔軟に対応する。

#### 委員からの質疑

**問** 検討委員会での市民意見の大半は橋上駅舎案であったが、最終的に跨線自由通路案を選択した理由は。

**答** 駅のホームにそのまま行ける現状の駅舎が使い勝手が良いとの地域の意見や、近鉄の第一案が跨線自由通路であることなどを総合的に考えた。

**問** 任天堂資料館オープン後、住民が近鉄小倉駅を使いにくくならないように、検討を進めてほしい。

**答** 近鉄小倉駅周辺のまちが、今後どうなっていくのかを含めて、総合的に基本計画の検討を進めていく。

**問** 計画策定や工事・施工期間のスケジュールなど、どのような流れで近鉄小倉駅の整備を進めていくのか。

**答** 2年程度をかけて、近鉄小倉駅周辺をどうしていくのかを検討する。その後は選択する事業にもよるため、基本計画を検討するなかで考えていく。

**問** 地下通路が1年半使用できなくなった場合、利用者はどこを通行することになるのか。

**答** 近鉄との協議や詳細な検討を進めるなかで、駅周辺の利用者が不便にならないよう検討する。



# 一般質問

## うじ未来

さなだ あつし  
**真田 敦史** 議員



(仮称) 乳幼児教育・保育支援センターの具体化は

**答弁** プロジェクトチームで取組の推進を検討する

**問** 乳幼児の就学前の在り方をサポートする(仮称) 乳幼児教育・保育支援センターを設置する。施策の具体化に向けて、どのように取り組んでいくのか。

**答【市長】** 乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会から提出された意見書や就学前施設の全ての施設長との意見交換で出された意見等を踏まえ、3つの柱である保幼こ小連携、発達・子育て支援、研究・研修を軸に、プロジェクトチームで取組の推進を検討している。令和5年4月に市職員や保育士、幼稚園教諭などで構成するセンター準備室を設置し、就学前施設の現状と課題を踏まえた取組を推進し、安心して子育てができ

## 日本維新・京都宇治党

かな が さき ひで あき  
**金ヶ崎 秀明** 議員



小倉駅前まちづくりに取り組む決意は

**答弁** 歴史や地域、企業の特性を生かした本市ならではの取組を進める

**問** まちづくりにおいて、官民連携でプロジェクトを実行している例も多い。本市では地元民間企業とどのような連携や協議、計画をしているのか。

**答【政策企画部長】** 現在12社と協定を締結し、民間のノウハウや先進技術を提供してもらいながら、官民一体によるまちづくりなど各種施策を推進している。

**問** (仮称) 任天堂資料館の整備は、市全体の観光にも波及効果が及ぶと期待している。市長がリーダーシップを執って任天堂との信頼関係を結び、近鉄小倉駅前のまちづくりの取組を進めてほしい。市長の決意は。

**答【市長】** 小倉地域は商業集積地であるとともに、駅

る環境とともに子どもが育つ環境づくりを進め、子育て・子育て支援の充実に向けた取組を確実に進めたい。

## 中学校給食の早期実現を

**答弁** 給食センターの早期整備に全力を尽くす

**問** 中学校給食について、令和8年度の早期の運用開始を目指し、給食センター用地として旧宇治少年院跡地の取得に向け、法務省と調整をされている。法務省では具体的にどのような作業と手続きを行っているのか。

**答【教育部長】** 現在、法務省では、土地の履歴等の調査や財務省に移管するための事務手続等が進められている。本市では用地取得後、速やかに設計及び工事が実施できるよう、DB(注)事業発注に向けての準備を進めている。また、用地の早期取得に向けて法務省ほか関係機関へも引き続き働きかけている。

**問** 中学校給食を早く実現してほしいとの保護者の声を大変多く聞く。実現に向けた教育長の決意は。

**答【教育部長】** 子ども達のために、今後も引き続き給食センターの早期整備に全力を尽くす。

(注) DB デザインビルド方式とは、設計・施工の両方を一括して発注する方式

の東側には、世界に通じるお茶の製造卸業も集積している。これらの歴史や地域、企業の特性を生かした本市ならではの取組を進めることが重要であり、民間企業との連携を図り幅広い視点で取り組んでいく。

## シニアのDX支援、市の考えは

**答弁** スマートフォン操作教室等の取組を通して不安解消に努める

**問** デジタル田園都市国家構想では、誰一人取り残されず、全ての人々がデジタル化のメリットを受けられる心豊かな暮らしを実現するとある。デジタル化で格差を生じさせては駄目だ。シニアのDX支援、市の考えは。

**答【政策企画部長】** 高齢者をはじめ、全ての市民がデジタルの利便性を実感できるよう、スマートフォン操作教室をはじめとするデジタル・ディバイド対策に取り組むとともに、インターネット上のトラブルに関する注意喚起を通して不安の解消などに努める。

**問** デジタル化に向けた推進計画について、市の考えは。

**答【同部長】** 国からの情報提供等を注視し、デジタル化推進指針の策定を行っている。

# 一般質問

## 自民党議員団

きもと ひろあき  
**木本 裕章** 議員



### 天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画、今後の展望は

**答弁** 宇治の魅力向上に向け、自然環境を生かした観光振興を強く推進する

**問** コロナの影響で社会状況が変わってきている中、平成31年に登録された天ヶ瀬ダムかわまちづくり計画の進捗状況は。

**答** 【産業観光部長】 改めて民間事業者のニーズ把握のためのヒアリング調査を実施しており、その結果を踏まえガーデンズ天ヶ瀬跡地利活用の検討を深めていく。

**問** 宇治川と市街地から近いという利点がある天ヶ瀬ダムを一体とした周辺エリアを生かしたかわまちづくりが必要だ。天ヶ瀬かわまちづくり推進プロジェクトチームを新たに立ち上げての今後の観光振興の展望は。

**答** 【市長】 ダム周辺の美しい景観を一望できるロケー

ションを生かした活用方法などを調整・検討している。市街地との周遊性やさらなる魅力の向上に向けた宇治ならではの取組を観光振興計画に位置づけ、宇治川などの自然環境を生かした観光振興を強く推進していく。

### 駅やバス停留所から距離のある地域に対する移動手段の検討は

**答弁** 病院送迎車両による買物支援の実証運行を実施する

**問** 移動の実態把握のため、駅やバス停留所から距離のある地域を対象に実施した地域ヒアリングでは、利用者は少ないものの、日常の買物、通院などの移動ニーズが一定存在することが明らかになった。公共交通に限らない移動手段を含め検討することのだが、地域の声に対し、具体的な移動手段の検討は。

**答** 【市長】 令和5年1月より高齢者を対象に地域から近隣商業施設までの間の病院送迎車両による買物支援の実証運行を約半年間実施し、利用状況などその効果を検証する。また、生活上、自動車を手放せない高齢者に向け、交通安全教室を開催する。今後もニーズの把握に努め、引き続き移動手段の充実に努めていく。

## 公明党議員団

とりいすすむ  
**鳥居 進** 議員



### デジタル化に向けた今後の進め方は

**答弁** 人に優しいデジタル社会の実現に向けた各種施策の推進に努める

**問** コロナ禍を機に3密回避の観点から、私たちの生活はデジタル化が確実に進んだ。働き手が不足する少子高齢化社会を支えるためには、利便性の向上と併せて、効率化の観点からもデジタル化に取り組む必要がある。今後、どのようにデジタル化を進めていくのか。

**答** 【副市長】 デジタル技術を活用した効果的・効率的な市政運営を目指し、国が策定した自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画の重点取組事項を中心としたデジタル基盤の整備に取り組んでいる。デジタル化推進指針の策定により、市民サービスの向上や行政事務の効率化など、人に優しいデジタル社会の

実現に向けた各種施策の推進に努めていく。

### 大型商業施設の閉店、南宇治エリアの構想は

**答弁** 南の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出に向けて取り組む

**問** 平成28年5月末のイオン大久保店の閉店以降、西大久保地域における買物の課題が解決していない中、イズミヤ大久保店が閉店すると報道された。大型商業施設の相次ぐ閉店により、人口減少や魅力の喪失に繋がるのではないかと危機感を感じている。この西大久保地域を含む南宇治エリアの魅力創出の構想や展望は。

**答** 【都市整備部長】 平成18年11月に大久保駅周辺地区整備構想を策定し、これまで近鉄大久保駅前広場の整備やJR新田駅のバリアフリー化など、広域的な交通結節機能や広域道路ネットワークの強化を進め、都市基盤整備を行ってきた。現在、府や城陽市をはじめ宇治商工会議所とも連携し、今後の対応の協議を進めている。広域的な交通ターミナルとしての都市基盤を生かし、引き続き南の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出に向けて取り組んでいく。

## 自民党議員団

にし かわ やす し  
**西川 康史** 議員



### 不登校児童・生徒への市の支援体制は

**答弁** U j i ふれあい教室にてさまざまな教育活動を行っている

**問**令和3年度に全国の公立小・中学校で30日以上欠席した不登校の児童・生徒は24万4940人で、過去最多となった。文部科学省は、新型コロナウイルスの影響があると分析している。本市でも小学生が108名、中学生が167名となっている。本市の不登校児童生徒自立支援策としてU j i ふれあい教室があるが、そこでの活動内容、支援体制とその役割は。

**答【教育部長】**自らの将来を主体的に捉えて社会的に自立していけるよう、小集団活動を中心にさまざまな教育活動を行っている。また、これらの教育活動を効果的に行うため、不登校児童生徒自立支援教室指導員、

教育相談員、スクールカウンセラーを配置している。  
**問**U j i ふれあい教室は、不登校児童・生徒への支援の中核として、学校での組織的支援への指導助言等の活動が求められる。さらに充実させる考えは。

**答【教育部長】**増加する不登校児童・生徒を支援していくため、支援体制、設置場所、広さなど、社会的自立を促すような施設の在り方を検討しており、今後も児童・生徒とその保護者及び学校への支援に努めていく。

### 道路拡幅用地寄附の申し出があった場合、市の対応は

**答弁** 側溝等の排水施設や舗装など拡幅整備を実施している

**問**伊勢田地域では狭隘な道路が多く残っており、緊急車両が入り込めないところもあり、市民の安心・安全のため道路拡幅が必要と考える。個人などから地域貢献のために市道の道路拡幅用地の寄附の申し出があった場合、市の対応は。

**答【建設部長】**狭隘な道路の沿道の方から、道路の拡幅を目的とした土地の寄附を受けた場合、市が側溝等の排水施設や舗装などを行い、拡幅整備を行っている。

## 共産党議員団

おお かわ なお ゆき  
**大河 直幸** 議員



### 給食センターで食育に優れた中学校給食を提供できるのか

**答弁** 栄養教諭や担任等が連携し、引き続き指導を行う

**問**本市の給食センターの栄養教諭は、府の配置基準である2人で、6000食の調理を管理することとなる。2人では調理工程、衛生管理しかできず、各校と連携した食育の推進などできないのではないか。

**答【教育部長】**センター給食の実施に必要な栄養教諭の配置は、府費からの配当教諭、また市費による配置も含め、今後しっかりと検討したい。

**問**しっかりと子どもたちに食育に優れた中学校給食を提供できるのか。

**答【教育部長】**栄養教諭や栄養士、担任等それぞれと連携し、成長過程の中で食事がどれほど大事なもののなの

か、引き続き指導を行っていく。そして、中学校給食の実現は保護者、何よりも子どもたちが一番期待をしている事業であるため、センターの早期整備に向け努力をしていく。

### 買物が不便な実態に、行政は役割を果たせないのか

**答弁** 買物に行けない人が増えている状況を考え、検討を進める

**問**イオン大久保店閉店の際、当時の市長は土地所有者に要望に行かれた。イズミヤ大久保店閉店の緊急事態に、市長は動かないのか。

**答【産業観光部長】**府や城陽市をはじめ、宇治商工会議所とも連携し、今後の対応を協議している。

**問**市内全体で買物が不便だとの実態がたくさんある。生鮮食料品など扱う小売店が必要だ。市場原理に任せたら暮らしが成り立たない。歩いて買物ができるまちの実現に、行政は役割を果たせないのか。

**答【市長】**高齢化が進むなど、なかなか買物に行けない人が増えている状況を考え、民間のニーズも把握しながら、確保するべく検討を進めていきたい。

# 一般質問

## 共産党議員団

わた なべ しゅんぞう  
**渡辺 俊三** 議員



### 給食も義務教育無償化の対象との国会答弁に対し、市の見解は

**答弁** 義務教育無償の規定は授業料不徴収の意味である

**問** 昭和26年、教科書などの教材や給食も全部義務教育無償化の対象と国会で答弁されている。市の見解は。

**答【教育部長】** 義務教育無償の規定は授業料不徴収の意味と解する、と昭和39年最高裁判例で定まった。

**問** 昭和44年には教科書が完全無償化され、現在全国の自治体で給食費無償化が広がっている。文科省も給食費の保護者負担軽減の取組を促している。一部軽減から無償化へ一歩踏み出せないか。

**答【同部長】** 本市は学校給食会に補助を行っている。

**問** 70年前の国会答弁で、鉛筆・ノートなど教材は全部無償化の対象とある。本市の不適切な教材費の保護

者負担の解消は。

**答【同部長】** 府教委の通達に沿って適正に処理しており、各学校の運用も一定改善が図られてきている。

**問** 教室備品や清掃用具の購入費用などが学校徴収金として保護者負担となっている。無償化すべきでは。

**答【同部長】** 利益が個人に還元するものは私費負担すべきと考えている。今後も適正な運用を指導する。

### 携帯電話基地局の電磁波被害の相談はあるか

**答弁** 5年間で2件の相談があった

**問** 携帯電話基地局の電磁波による健康被害の相談を市民から受けた。市の相談件数は。

**答【総務・市民協働部長】** 5年間で2件あった。

**問** 鎌倉市のような被害防止条例制定はできないか。

**答【同部長】** 基地局設置には周辺住民への説明が求められている。現時点で条例の制定の必要性はない。

**問** ICT活用における生徒への電磁波被害予防策は。

**答【教育部長】** 学校では、国の指針を遵守した機器を使用しており、健康に配慮がなされている。

## 共産党議員団

とく なが み き  
**徳永 未来** 議員



### 高校卒業まで、医療費を無償化に

**答弁** 府の検討状況を注視しながら対応する

**問** 府において子育て支援医療助成制度あり方検討会議が行われている。仮に府の助成制度が拡充され、市の負担が軽減された場合、その軽減分は子どもの医療費削減に使うべきだ。高校卒業までの医療費無償化に、市の考えは。

**答【健康長寿部長】** 府で福祉医療制度の在り方の具体策が検討されており、状況を注視しながら対応する。

**問** 市は虐待児童等見守り強化事業を行っているが、虐待児だけでなく、防災用備蓄品の入替え時に災害用備蓄品の紙おむつを配布し、子育ての悩みや不安を聞くなど福祉支援での使用を検討してはどうか。

**答【福祉こども部長】** 備蓄おむつ更新時の活用には、さまざまな方法が考えられ、活用の在り方について検討する。また、地区担当の保健師等が乳児のいる家庭を全戸訪問し、寄り添った対応をしている。

**問** 見守り事業の継続は必要で、訪問回数を増やして安心して子育てできる環境をつくっていく事が重要だ。

### 徳洲会病院のバスを利用した実証運行事業の主体は

**答弁** まずは市が主体で取り組む

**問** 新たな移動手段確保推進事業として、榎島町紫ヶ丘地域で徳洲会病院のバスを利用した実証運行が開始されるが、市の事業として行うのか。

**答【都市整備部長】** 市民・事業者・行政の3者協働で行うものだが、まずは市が主体で取り組んでいく。

**問** 地域の人すべてが利用できるわけではなく、高齢者の移動支援との事だが、困っているのは高齢者だけか。

**答【同部長】** まずは高齢者の買い物支援を行う。

**問** かかりつけ医への移動希望もあり、不十分だ。市が主体となって市民の足を守って欲しい。

## 公明党議員団

いけだ てる ひこ  
**池田 輝彦** 議員



### 給与水準見直しで内部改革を

**答弁** 国や府の制度に準拠する方向で給与制度を見直す

**問** 令和3年度決算では経常収支比率に改善が見られ、単年度収支も黒字となったものの、財政硬直化に対する改善はまだ必要であり、さらなる内部改革を進めるべきだ。特に義務的経費である人件費に関し、給与水準を今後どう見直していくのか。

**答【副市長】** 「職員の給与は職務と職責に応じて決定されなければならない」という職務給の原則に基づき、国や府の制度に準拠する方向で給与制度を見直した。制度完成時には1年当たり1億円以上の財政効果を見込んでおり、今後も不断の点検と見直しに努める。

**問** 定年年齢引き上げの制度改革を含めた職員定数の適

正管理にはどう取り組んでいくのか。

**答【副市長】** 退職者や採用者数のばらつきが懸念されるが、長期的展望に立って年齢構成のひずみ拡大や組織運営上の影響が生じないように適正管理に努めていく。

### 近鉄小倉駅周辺まちづくりに対する市長の思いは

**答弁** 市全体のにぎわいにつながるまちづくりをしっかりと進めていく

**問** 近鉄小倉駅周辺は、令和5年度完成に向けた（仮称）任天堂資料館の工事など、新たなまちづくりに向けた準備が始まっている。民間事業者の土地利用計画に遅れることなく具体的な計画策定に取り組むべきだが、現状と今後のまちづくりに対する市長の思いは。

**答【市長】** 将来あるべき姿として、3月に近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本構想を取りまとめた。8月に決定した大型商業施設跡地の新たな土地所有者と基本構想の実現に向けた協議を進めている。駅東西移動円滑化は跨線自由通路案を軸に進め、まちづくりの具体化に向けた基本計画の策定に取り組む。市全体のにぎわいにつながるまちづくりをしっかりと進めていく。

## 共産党議員団

やま さき きょういち  
**山崎 恭一** 議員



### 高齢難聴者は市内に約2万人と推定 補聴器購入に補助を

**答弁** 担当課を中心に他団体の事例を研究する

**問** 市内の加齢による難聴傾向の人の人数は。

**答【健康長寿部長】** 市としては把握していない。

**問** 京都府中途失聴・難聴者協会によると全国で約1400万人の難聴自覚者がおられ、人口比率でいくと本市では約2万人と推定される。人生の途中で聴力が落ちていき、世間とのつながりがなかなかとれない、心も病んだという経験も語られている。高齢難聴者への支援はおろそかにできない課題だが、市の認識は。

**答【同部長】** 加齢等により難聴者となった人への支援は、高齢者施策の在り方全体の中で検討する。

**問** 東京都港区では、60歳以上を対象に所得制限なし

で補聴器購入費補助制度をスタートした。こうした動きは全国でも広がっており、本市でも具体的な検討を始めるべきではないか。

**答【同部長】** 担当課を中心に関係課と連携して他団体の事例等を研究したい。

### 木幡池の排水樋門の建設はどうなっているのか

**答弁** 工事箇所住民と調整をしている

**問** 木幡池の水害対策として計画された樋門の設置が大変遅れている。国や府からどのような説明がされているのか。

**答【建設部長】** 国、府、京都市、宇治市の4者が連携して、工事箇所となる京都市域の地元と調整している。コロナウイルス予防等の関係で協議が困難だったが、今年度は数回の説明や調整を行っている。

**問** 樋門を活かすためにも、導水路や池の定期的な浚渫が必要だが、国や府とどのような協議をしているのか。

**答【同部長】** 木幡池の貯水能力が低下することがないよう適切な管理を府に要望していく。

# 一般質問

## 無党派

さ さ き ま ゆ み  
佐々木 真由美 議員



### まちづくりへの市民参画に対する基本姿勢は

**答弁** 情報の提供と共有が市民参画・協働によるまちづくりにつながる

**問**第6次宇治市総合計画ではまちづくりの土台に市民との連携・協働を掲げている。決定過程への市民参画が欠かせないが、そのような仕組みになっていない。決定事項ではなく決定過程の情報を市民に提供した上で広く市民の意見を収集し、決定していくことが重要であると考えが市の考えは。

**答**【政策企画部長】職員が地域に足を運び、市民の声をできる限り聞く中で、市民目線に立って地域課題や市民ニーズなどの把握に努める必要がある。課題等の把握から解決に向けての議論、施策等への推進へとそれぞれの段階に応じた情報の提供と共有が市民参画・

協働によるまちづくりにつながると考える。

**問**求められているのは、どこまで市民目線に立って考えられるか、市民と一体になって議論できるかという行政側の覚悟である。具体的な事業を進めていくときには丁寧な説明と合わせて丁寧な対話を期待する。

### ワクチン接種後の健康被害についての対応と周知を

**答弁** 副反応等に係る相談にもしっかりと対応していく

**問**新型コロナワクチンの接種回数増加に伴い、ワクチンによる後遺症の疑いがある症状の報告件数が増加している。ワクチン接種後に重篤な副反応が出た場合の対応や、健康被害があった場合の救済制度の情報は、市民にどのように周知しているのか。

**答**【健康長寿部長】ワクチンの有効性や副反応の情報、健康被害者救済制度等を記載したお知らせ等を接種券に同封して送付している。また、集団接種会場では、府が設置するコロナワクチン副反応相談センターの連絡先を記載したチラシを配布し、市でも副反応等に係る相談を受け付けており、しっかりと対応していく。

## うじ未来

かど や よう へい  
角谷 陽平 議員



### 消防団の大規模災害対処能力向上の取組は

**答弁** チェーンソー等の救助資機材を活用した訓練を実施している

**問**消防庁は、消防団員の安全確保のための装備の充実、双方向の情報伝達を可能にする情報通信機器の充実、大規模災害に対応するための救助活動用資器材の充実に各市町村に求めている。市の状況は。

**答**【消防長】保安帽や救助用安全靴など基本的な安全確保に必要な装備は全団員分を装備しており、他の装備については地域の災害状況や消防団が担当する活動内容などを勘案しながら計画的な整備に努めている。

**問**大規模災害に対処する消防団の能力向上のための訓練に関する取組は。

**答**【消防長】チェーンソー等の救助資機材を活用した

訓練を、林野火災訓練や防災訓練における倒壊家屋からの救出訓練の機会を活用しながら実施している。

**問**情報伝達手段も現代化を図る必要があるのでは。

**答**【消防長】メールやSNSの活用などを進めていく。

### 宇治東山市営住宅の建て替えを

**答弁** 具体的な検討に向け、課題を整理する

**問**公営住宅については、平成31年に見直された計画に基づき、長寿命化と建て替えに取り組まれている。バリアフリー化が強く望まれる市営住宅の現状は。

**答**【建設部長】法定耐用年限や設備等の老朽化の状況も踏まえ、外壁改修や屋上防水など建物の長寿命化を図る取組のほか、エレベーターや高齢者対応型浴槽の整備などバリアフリー化の取組を計画的に行っている。

**問**宇治東山市営住宅の老朽化が進んだ17戸は、屋内外の段差や立地が高齢者の負担となっており、地元の要望を受け、建て替えが必要と考えるが、市の対応は。

**答**【市長】今後、建て替えの具体的な検討に向け、候補地の課題などを整理しながら検討していく。

## 共産党議員団

やま ざき たすく  
**山崎 匡** 議員



### 物価高騰対策は市民の暮らしを支える市独自施策が問われているが

**答弁** 真に必要な施策を適時的確に実施していきたい

**問**府が発表した京都市の消費者物価指数では、2020年を基準の100とすると、2022年10月で食料は107.5、光熱・水道は115.3と異常な上がり方となっている。このような深刻な状況で、国の交付金に頼らない市独自の市民の暮らしを支える施策が問われているが、市の考えは。

**答【政策企画部長】** 国や府の動向を見定め、市民生活や事業者の経済活動なども把握する中で、真に必要な施策を適時的確に実施していきたい。

**問**市はこれまで財政健全化推進プランで多くの市民サービスを削り、使用料・手数料の引上げなど市民負担

増も併せて行った結果、数億円単位で単年度黒字となっている。市民生活が追い込まれているときに市がどうするのか問われている。歴史公園は88億円かけて整備したが、入館者も収入も見込みに達しておらず、その分を市が負担するという検討も事業者と協議している。税金の使い方としてこれでいいのかということが問われているのではないか。

**答【同部長】** お茶と宇治のまち歴史公園は、宇治の歴史や文化、宇治茶の魅力発信の観光交流拠点として整備したもので、その意義は非常に大きいと考えている。

**問**市は、歴史公園が出来て人口が増えると描いていたがそうになっていない。若い世代の流出に対して恒常的な負担軽減が必要になる。学校給食費の無償化、医療費の高校卒業までの無償化、教材費や部活動、修学旅行などの学校教育費、教材費の負担軽減、物価高騰分を含めた就学援助基準の見直しなどが必要だと考える。



## 共産党議員団

さか もと ゆう こ  
**坂本 優子** 議員



### 公民館は存続、充実させるべきではないか

**答弁** 複合・多機能化に向けて検討する

**問**教育基本法では、国民には学校での教育を受ける権利と同様に、公民館等の社会教育施設での教育を受ける権利があり、国や地方自治体はこの権利を保障しなければならないとある。公民館の持つ重要な役割を市はどう認識しているのか。

**答【教育部長】** 公民館、図書館、博物館等の施設の設置又は適当な方法により教育の目的を実現しなければならない、という法律の趣旨を認識している。

**問**公民館は貸し館ではなく地域の人たちが学習する場所であり、人口減少・多発する災害・気候危機・ジェンダー平等など、市民の知恵と勇気、互いへの連帯で

解決すべき問題にも取り組める。パブコメでは公民館廃止反対が98%であった。廃止でなく存続、充実させるべきだが、市の考えは。

**答【同部長】** 公共施設の一つとして複合・多機能化に向けて検討し、生涯にわたる学びの場の確保に努める。

### J R宇治駅前にトイレ・ベンチの設置を

**答弁** 駅前トイレは不足していない

**問**J R宇治駅前のトイレが撤去され、市民や観光客は、ゆめりあうじや駅構内のトイレを使用するしかなく、ゆめりあうじは休館日に使えないなど不便だ。観光を誇るまちであり、駅前にトイレを設置すべきでは。

**答【産業観光部長】** 観光地の玄関口として景観面の改善や歩行者の安全確保のため、駅前公衆トイレを撤去した。駅前のトイレは不足していないと考える。

**問**駅前広場はイベントなどで活用できる広さは残り、樹木やベンチの設置など潤いのある広場にしては。

**答【同部長】** 現在の開放的な広い空間により、歩行者の安全が確保できていると考える。

# 一般質問

## 日本維新・京都宇治党

あき づき しん じ  
**秋月 新治** 議員



### 名勝宇治山の保存と活用、古墳公園整備を

**答弁** 検討委員会を立ち上げ、引き続き検討する

**問** 大吉山周辺は名勝宇治山として指定されていることから、観光客や市民の憩いの場所として、古墳公園を建造してはどうか。平等院、塔の島、宇治神社、宇治上神社、源氏物語ミュージアムから大吉山展望台を経て、山本古墳及び二子山古墳公園展望台からお茶と宇治のまち歴史公園へ徒歩で周遊できるコースになり、さらに二子山古墳及び山本古墳への進入路から古墳公園までを通じて、市道6号線と結んだ遊歩道の整備をすれば、観光の人气が上がるのでは。

**答**【都市整備部長】 名勝宇治山の保存活用に関する計画では、現在、計画書に記載すべき項目等の検討や整

備等に係る関係法令等の調査を終え、名勝地内の樹木の植生調査を行っている。今後は、現況調査・分析や課題の抽出及び保存の基本方針や整備方針等を検討するため、令和4年12月に名勝宇治山保存活用検討委員会を立ち上げ、文化財学等の学識経験者の意見を聞く予定だ。引き続き、名勝宇治山の保存活用に向けた取組を進めていく。

### 18歳までの通院医療費無料化を

**答弁** 府の検討状況を注視しながら対応したい

**問** 大阪府は18歳までの通院医療費無料化を既に実施しており、富山市は来年度から実施する。助成対象の拡大は、人口流出抑制につながる。本市も18歳までの通院医療費の無料化に取り組むべきだ。

**答**【健康長寿部長】 本市では、平成29年度に医療費の実質無償化を中学卒業まで拡大した。今年度、府では子育て支援医療の対象年齢拡大などを主な論点として検討することとしている。今後の医療費助成拡充は、府の検討状況を注視しながら対応したい。

## 無会派

あさ い あつ のり  
**浅井 厚徳** 議員



### 高齢者や障害者の移動手段は

**答弁** 関係部局と連携し検討を進めていく

**問** 令和3年7月に策定された公共交通体系基本計画を受けて、新たな移動手段確保推進事業の取組が進められている。紫ヶ丘地域の意見交換会では住民から、高齢になって自転車や自動車等に乗れない時に、買物、病院、市役所などへの移動手段をどうすればいいのかとの悲痛な声が上がった。学識経験者からは、高齢や障害等の理由により動くことができない人の移動は、公共交通ではなく福祉の範囲で考えていくべきだとの意見が出されている。今後の公共交通の役割を踏まえて、具体的に検討していくべきでは。

**答**【都市整備部長】 移動を求める人は多様であり、公

共交通に限らない移動手段も含め幅広く検討する必要がある。現在も高齢者や障害のある人への福祉サービスとして、市内全域を対象に、外出支援を含めた生活支援のニーズに応じた支援を実施している。移動手段の確保については、公共交通や福祉など、目的による利用者の特性を踏まえ、そのニーズに即した検討を関係部局と連携し進めていく。

### 近鉄小倉駅西側駅前広場の利用を検討すべきでは

**答弁** フェンスの撤去も視野に入れ整備を検討する

**問** 近鉄小倉駅西側は、商業施設の跡地を土地開発公社が先行買収してから約1年半が経つが、フェンスで囲まれたままである。もっと住民に喜ばれるような駅前広場用地の暫定利用を検討していくべきではないか。

**答**【都市整備部長】 駅西側暫定整備は、自転車等駐車場の完成と合わせて供用できるよう関係機関との協議を進めている。仮設歩行者通路の設置に加え、地域からの要望が多い広場の暫定開放など、フェンスの撤去も視野に入れた整備を検討する。

## 共産党議員団

みやもと しげ お  
**宮本 繁夫** 議員



### 市が最高裁に上告、専決処分の説明を

**答弁** より慎重な判断に時間がかかった

**問** 2012年8月の府南部豪雨災害での浸水被害に係る損害賠償請求事件で、市の上告が不受理になった。これまで判決が不服で最高裁に上告した件数や議会に諮らず市長が専決処分した件数は。

**答** 【政策企画部長】 過去25年間で上告は住民情報流出と本件の2件、専決処分は本件の控訴、上告のみだ。

**問** 本件は行政の責任が問われた裁判だ。判決に不服だと言うだけで、控訴、上告を繰り返すことは市民の権利の侵害になりかねない。市の考えを議会に説明し、議決を経ていくことが大事だと考えるが市長の考えは。

**答** 【市長】 訴えの提起は議会の議決が必要と地方自治

法で定められており、議会の議決については重く受け止めている。市民を相手とする訴訟で、より慎重な判断が求められ、最終判断に時間がかかり専決処分した。**問** 上告後も委員会に上告状すら提出しない。議会を軽んじているのでは。今後このようなことがないよう強く求めるとともに、速やかに相手方に賠償をすべきだ。

### 西小倉小中一貫校に給食室は造らないのか

**答弁** 給食はセンターから配送する予定だ

**問** 2万3000㎡の敷地、延床面積約6000㎡の建物に300人の生徒が通っていたところに、西小倉小中一貫校の延床面積は約1万5000㎡となり、約1000人の児童生徒が通い窮屈だ。有効利用のために給食室を造らないと言うが、計画を見直すべきだ。

**答** 【教育長】 教育環境をより良いものにするという観点等から、給食はセンターから配送する予定だ。

**問** センター方式にする小学校には丁寧に説明すると言うが、保護者には一度も説明をしていない。きちんと説明をして、良い学校ができるよう努力をして欲しい。

(以下敬称略)

## 議会における研修会

### <建設・水道常任委員会>

11月9日「天ヶ瀬ダム再開発事業について」

講師：国土交通省 近畿地方整備局  
琵琶湖河川事務所  
事業対策官 唐松 雅司 氏



### <産業・人権環境常任委員会>

11月10日「気候危機の現状と行政が取り組むべき課題について」

講師：特定非営利活動法人気候ネットワーク  
代表 浅岡 美恵 氏



## 自治功労者の推薦を承認

議会は、次の6名の自治功労者の推薦を承認しました。

- |                               |                              |                              |
|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| ●市議会議員<br>あきづき しんじ<br>秋月 新治   | ●保護司<br>ひらた しげる<br>平田 茂      | ●消防団副団長<br>さほら さとし<br>佐原 敏   |
| ●消防団副団長<br>よしむら やすひろ<br>吉村 安広 | ●消防団副団長<br>たかぎ ひろのぶ<br>高木 啓暢 | ●消防団副団長<br>あまの としあき<br>天野 俊明 |

## 教育委員会委員の任命に同意

議会は、教育委員会委員の任命に同意しました。

- 教育委員会委員  
こやま えいこ  
小山 栄子 (再任)

## 提出された請願

今定例会に提出された請願を所管の常任委員会で審査し、本会議最終日に次のとおり決定しました。

- ◆誰もが安心して子どもを産み・育てられるよう  
宇治市の保育充実を求める請願  
(請願者) 小林 雅美

◎賛成少数で不採択

## 議会の動画 配信中

宇治市議会では、本会議や常任委員会等をインターネット動画で配信しております。生中継や録画配信は、市議会ホームページの「議会中継」をご覧ください。



## ホームページからの閲覧方法

市議会ホームページからは以下のアクセス方法で議会中継をご覧いただけます。



- ① 宇治市議会トップページ
- ② 左側のバナー 上から二つ目「議会中継」をクリック

※宇治市議会トップページ最下部の公開用スケジュールからもアクセスできます。

## 傍聴に関するご協力のお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会議・委員会等を傍聴される方は、以下の項目について、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 入場時に手指の消毒を行ってください。
- 室内ではマスクの着用など咳エチケットの励行に努めてください。
- 37.5度以上の熱、強いだるさ、息苦しさがある場合は、傍聴をご遠慮願います。

※傍聴当日に体温を未計測の方は議会事務局(議会棟2階)に非接触型の検温器がございますので、ご利用ください。



※感染拡大状況により、傍聴の方への対応は変更する場合がございますので、ご了承願います。詳しくは、ホームページをご覧ください。



### 議会だより第167号の訂正

令和4年12月1日発行「宇治市議会だより」について誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。

15面中「市民と議会のつどい」のテーマ

- 【正】産業・人権環境常任委員会  
 ○ウィズコロナの暮らしと産業  
 建設・水道常任委員会  
 ○地域での移手段の取組、コロナ禍の公共交通

## 次回定例会のお知らせ 2月16日～3月24日 開催予定

令和5年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9 議会運営委員会	10	11
12	13	14	15 議会運営委員会 請願提出締切	16 本会議 (開会・提案説明等)	17	18
19	20 議会運営委員会 本会議 全員協議会 予算特別委員会	21	22 本会議 (一般質問)	23	24 本会議 (一般質問)	25
26	27 本会議 (一般質問)	28 予備日				

令和5年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2 常任委員会	3	4
5	6 常任委員会	7	8	9 予算特別委員会	10	11
12	13 予算特別委員会	14	15 議会運営委員会 本会議	16 予算特別 委員会 (実地調査)	17	18
19	20 予算特別 委員会 (総括質疑)	21	22	23 議会運営 委員会	24 本会議 (閉会)	25
26	27	28	29	30	31	

最新の情報は市議会ホームページにてご確認ください。